

若者フリーアンサー キーワードの抽出

【1】テーマごとのまとめ（要点）

1 働く場所・雇用機会

- ・ 企業誘致、起業支援への期待が大きい。
- ・ 安心して働ける環境（子育てと両立できる職場、刺激を受けられる職場）が求められている。
- ・ 玉野市内で仕事が増えれば、自然と定住や移住につながるとの意見が多い。

2 教育・学習

- ・ 小中学校の統廃合に関する不安や反発が強い。
- ・ 学区が広がることで通学が不便になる、地域の魅力の低下につながる懸念
- ・ 教育環境の整備（きれいなトイレ、給食の充実、特別教室のエアコンなど）への要望
- ・ 英語教育や地域に根差した教育の強化

3 子育て支援

- ・ 経済的支援（保育料や給食費の無償化、児童手当の増額、第二子・第三子への支援）
- ・ 出産・育児期のサポート（補助金、子育て支援センター、ボランティア支援）
- ・ 保育環境の改善（時間延長、保育士への処遇改善）
- ・ 「子どもが小さいうちは共働きしなくても育てられる」仕組みへのニーズ

4 子どもの遊び場・居場所

- ・ 屋内遊び場（雨の日や猛暑でも安心）への要望多数
- ・ 公園の整備（遊具の更新や清掃）
- ・ 交流できる場（児童館や親子の交流イベント）
- ・ 他市の成功事例（わけまるパーク、吉備中央町キッズパーク等）を参考に、との声

5 医療環境

- ・ 最も強い要望は 産婦人科、小児科の不足の解消
- ・ 「玉野市で出産できない」ことが定住を妨げる大きな要因という意見
- ・ 救急や夜間診療への不安、安心して診てもらえる環境の整備

6 交通・道路

- ・ 公共交通機関の不足（バス、電車の本数の減少、利便性の低下）
- ・ 若者や高齢者にとって、車がないと生活できない状況に不満
- ・ フェリーの復活や新たな路線の要望もあり
- ・ 安全な通学路の整備（歩道や自転車道の不足）

7 商業・娯楽施設

- ・ 大型商業施設（コストコ、I K E A、アウトレット等）の誘致への声が目立つ。
- ・ 飲食チェーン店や気軽に行けるお店の不足（スタバ、ユニクロ、ファミレスなど）
- ・ 若者が集まれる娯楽施設（ボウリング、カラオケ、イベント）がほしい。
- ・ 中心部以外にもバランスよく店舗を配置してほしい。

8 市の取組・広報

- ・ 防災（南海トラフ対策、避難所の配置）への不安
- ・ I C T、インフラ格差（光回線未整備エリア）に対する不満
- ・ 観光P Rや情報発信（インスタ、S N Sを活用した周知）
- ・ 外国人対応や地域活性化の仕組みも課題
- ・ 行政への不信感（市民の声が反映されにくい、統廃合の進め方など）

[ポイント]

- ・ 定住促進の基盤整備（雇用、教育、医療）
- ・ 子育て世代への経済的支援、生活支援
- ・ 公共交通、商業施設の利便性向上
- ・ 交流、遊び場、文化の充実
- ・ 行政の透明性、公平性、広報力の強化

【2】「結婚（少子化）」「ひきこもり」「居場所」の視点によるキーワードの抽出

1 結婚（少子化）

- ・ 子育て世代が安心して暮らせるようにしてほしい。
- ・ 企業誘致や雇用拡大により、働く場所があれば自然と定住、結婚につながる。
- ・ 出産に関する支援（補助金、産婦人科の整備）が必要
- ・ 保育料、給食費の無償化、児童手当の増額、第二子、第三子への支援
- ・ 子どもが小さいうちは、親が無理なく子育てできる環境の整備
- ・ 子育て環境が充実していれば、玉野で家庭を築こうと思える。

2 ひきこもり

- ・ 学校の統廃合で学区が広がると、通学が負担になり不登校や孤立の一因になる。
- ・ 教育環境（きれいな学校、充実した給食や設備）を整えることが「学校に行きたい」気持ちにもつながる。
- ・ ICT環境（光回線未整備など）の格差は、学びや在宅就労機会の阻害要因となり、ひきこもりの背景になる。
- ・ 公共交通の不足が、若者の外出、就労、交流の機会を奪い、孤立につながる。

3 居場所

- ・ 子どもの遊び場（屋内の遊び場、児童館、公園の整備）を増やしてほしい。
- ・ 若者が気軽に集まれる娯楽施設（ボウリング、カラオケ、イベント）が必要
- ・ 保護者や子どもが交流できる子育て支援センターの充実
- ・ 商業施設や飲食店が少ないため「出かけたい」と思える場所がない。
- ・ 地域や世代を超えて交流できる場が必要
- ・ SNSや広報を活用して「集まれるイベントや場」の情報を発信してほしい。

[ポイント]

- ・ 結婚（少子化）＝家庭を築く基盤づくり
- ・ ひきこもり＝孤立を防ぐ環境整備
- ・ 居場所＝つながりを持てる具体的な場の確保